

# アスパラガス半促成長期どり栽培における3年株の 立茎前収量が4年株収量に及ぼす影響

福島県農業試験場 会津地域研究支場  
平成16年度農業試験場試験成績概要

## 1 部門名

野菜－アスパラガス－作型・栽培型  
分類コード 03-35-18000000

## 2 担当者

佐藤正武

## 3 要 旨

アスパラガス半促成(長期どり)栽培において、3年株の立茎前収量(平成15年度収穫量、40, 50, 60, 70, 80kg/a)が4年株の収量に及ぼす影響について検討した。

- (1) 4年株の立茎前に100kg/a(くずの重さ含む)を収穫としたところ、収穫期間は40kg/a区、60kg/a区、70kg/a区が40日前後であったが、80kg/a区は50日近くを要した。
- (2) 総収穫量は、前年度(3年株)の立茎前収量50kg/a区(316.7kg/a) > 70kg/a区(308.7kg/a) > 60kg/a区(288.0kg/a) > 40kg/a区(262.0kg/a) > 80kg/a区(225.7kg/a)の順であった。前年度の立茎前収量80kg/a区においては、3年株から4年株へかけての総収穫量の伸びがほとんどなかったが、他の区は総収穫量の伸びが約30～80kg/aと大きかった。
- (3) 商品収量は、前年度(3年株)の立茎前収量70kg/a区(222.0kg/a) > 50kg/a区(215.9kg/a) > 60kg/a区(213.5kg/a) > 40kg/a区(174.4kg/a) > 80kg/a区(169.4kg/a)の順であった。
- (4) アスパラガス長期どり栽培の4年株において、前年の立茎前収量が80kg/aでは収量に影響があると考えられた。4年株において安定生産を図るためには、3年株の立茎前収量を60～70kg/aに抑える必要がある。この時の収穫期間は、20～22日間である。

## 4 その他の資料等

なし